

平成19年11月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第2委員会
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成19年11月27日審議を行った。

新規自主研究「急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価システムの開発と効果的運用に関する研究」、「炎症性腸疾患の免疫寛容および糖鎖関連診断マーカーの開発」、「抗 HIV 療法に伴う心理的負担、および精神医学的介入の必要性に関する研究」、「臨床試験の患者対応における CRC の役割と実態に関する調査」、「HER2 過剰発現原発性乳癌に対するエピルビシン (EPI) / シクロホスファミド (CPA) およびトラスツズマブ (HER) / ドセタキセル (DOC) を用いた併用術前療法第 II 相臨床試験」、「閉経後乳がんの術後内分泌療法 5 年終了患者に対する治療終了とアナストロゾール 5 年延長のランダム化比較試験」については修正の上承認とした。

実施計画書記載内容等変更報告 9 課題については変更を承認した。

継続自主研究 14 課題については、特に問題なく継続実施を承認した。